

つとむ通信

2010年 秋冬号

第6号

発行 自由民主党栃木県第4選挙区支部

〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸2-15-20

TEL0282-83-0001 FAX0282-83-0002

平成22年度補正予算案について…

後援会の皆様におかれましては、平素より私の政治活動に多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は、現在**自民党国会対策委員長代理**という立場を預かり、国会運営の調整役として、逢沢委員長のサポートを仰せつかっております。

さて、今国会において平成22年度補正予算案が可決を致しました。我々は党内で議論をした結果、この補正予算案に反対をさせていただきました。

私どもは政府に対し、**(1) 子ども手当、高速道路無料化、農家への戸別所得補償、高校授業料無償化を撤回して財源を確保。(2) 「地域活性化交付金」を3500億円から1兆5000億円に増額。(3) 緊急の米価下落対策(500億円)・・・**などを盛り込むよう提案致しましたが、ほとんど審議をすることもなく全て反対をされました。

そもそも補正予算案においては、**我々が麻生政権時代に創り上げた「地域医療再生交付金」や、公共事業分野における「ミッシング・リンク(分断された鉄道や道路)」の解消などの予算が、「ムダ」と言って執行停止をしたにも関わらず堂々と計上されています。事業仕分けの場であれば、「ゾンビ」と一蹴されてしまいそうです。政策としては歓迎すべきものでありますが、「コンクリートから人へ」という言葉は撤回されないのでしょうか・・・**

また、地域経済や、農村の疲弊に対しての認識も非常に乏しい内容となっております。我が党は、**地方公共団体が「自由に活用できる交付金」を拡充し、地域住民に近い立場で予算が決定できるような案**を提案致しましたが、非常に小規模かつ、使い勝手の悪い内容となっております。

米価の下落に対しても「個別所得補償制度」の一本やりで、何ら具体策は無く、我が党が提案した「緊急需給対策費(500億)」には全く興味を持って頂けませんでした。

このような政権を野放しにしておくことはできず、是々非々で国会を運営していくと同時に、国民の皆様に対して早急に信を問うべきである、という主張も強くして参ります。

皆様からの更なるご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

いわゆる尖閣問題について・・・

連日多くの報道がされている、いわゆる「尖閣問題」の対応に関しては、正直怒りを乗り越え、呆れるばかりの対応が続いております。

すべての対応が後手後手に回り、全く外交の体をなしておりません。規律がある以上、神戸海上保安職員がビデオ流出させたことを肯定することつもりはありませんが、まさしく命懸けで海上を見守っている方々のやりきれない気持ちは、理解をするところでもあります。

この問題に関しては政局を抜きにして、「民主党政権」の危うさを垣間見た気が致します。

国会対策委員会でのひとコマ

毎朝このように、正副委員長による会議を行っております。

この会議で、各委員会の情勢や他政党の動向などを確認し、各法案に対する賛否等を議論しております。



さとう事務所からのご案内

国政報告会（随時）

「さとう勉」が皆様のもとへ出向き、皆様の声を直接伺わせて頂きます。

地域単位でも、団体の支部単位でも、趣味の集まりでも結構です。皆様のお声をお聞かせ下さい。

事務所秘書がご相談をさせていただきますが、皆様からもお気軽にお声を掛けて頂ければ幸いです。

国会見学及び東京見学（随時）

歌謡ショーや東京見学と併せて、国会を見学し、佐藤勉と語りませんか？

少人数でも、大人数でも構いませんので、ご興味がございましたらお気軽にお声をお掛け下さい。